

磐城時報

石城郡磐城町平町四丁目
編輯 石城郡平町四丁目 田中 弘成
印刷 石城郡平町四丁目 田中 弘成
發行 石城郡平町四丁目 田中 弘成
電話 石城郡平町四丁目 田中 弘成
代金 石城郡平町四丁目 田中 弘成
送料 石城郡平町四丁目 田中 弘成
訂金 石城郡平町四丁目 田中 弘成
休刊 石城郡平町四丁目 田中 弘成

平町民の輿論は 第一案に傾く

第三校通學道路問題

平町第三小學校の通學道路問題模範とするに足ると同院では來
は慶報の如く紛糾中で未だ何れ年三月の卒業期には表彰をする
にも決定を見ないでいるが、町事になった。

四倉校拜賀式

石城郡四倉町小學校では來る十一月三日午前八時より明治節拜賀式
を挙げるが、四倉町青年團及
第一案に比べ二千萬も多額の金
を要するといふので之亦歓迎さ
るであらうと察せられてゐる。

募集員を廢止

石城郡内郷村磐城炭礦では各坑の從
業員募集のため直轄募集員四十
名設置してゐたが、今回これを
全部廢止することになった。

平町の按摩業者 目明きの者に壓倒さる

主務省に善後策陳情

平町磐城訓盲院の生徒約二十名宛中であつたが結局目明きの者
は毎夜平町内に出張して按摩の
需めに應じ、一夜で八十錢位の
収入あり、生徒は自分の學費や
食料に當て、尙ほ余りがあつた
が、昨今では不景氣のため収入
激減し一文の収入もない晩珍ら
しからず、これは不景氣が深刻
になつて按摩の希望者が少なく
なつたばかりでなく各方面の失
業者で食ふに困る者は目明きで
あり乍ら按摩業を志し試験をう
ける者が増加し、目明きの方が
合格率も良いので眞當の按摩は
業學校では來月三日明治節をト
業學校では來月三日明治節をト
目下生徒は猛練習中である。

寄附金を強要

平町
正月町大谷國義(二八)外數名は
失業救済と稱し助友會なるもの
を設け寄附金を強要してゐたこ
と發覺三十日大谷外一名は平署
に召取調べを受く。

感心な少年

磐城訓盲院の

平町磐城訓盲院初等部六年生
城縣多賀郡南中郷村生れ小池一
雄(二二)君は入院以來滿六ヶ年
間院舎の廊下掃除を一人で引受
け朝夕二時間余も要する掃除を
一回も休んだ事もなく、院児の
感心な少年

教育勅語發布紀念に 四倉町で秋市場開催

石城郡四倉町仲佐藤芳之助

は過般より阿部夏井村長に出縣
陳情で豫算額の折衝中であつた
が此の程七萬三千五百圓の内
新妻、佐藤誠一、齋藤常松氏
等外拾餘名發起となりて此程教
育勅語發布四十年紀念として四
諾を得たので二十九日午前九時
決定し、期日は毎年十月二十
五日より六、七日の三日間(本
議可決し直に認可申請の手續
をなした。尙ほ同工事は縣の認
可指令なり次號灌漑關係地元
準備に着手したが、石城郡に於
てはこの種の催しが未だないつ
ため人出を想像されてゐる。

歳末を前に 失業者困る

磐城各炭礦では石炭需要期に際
し平職業紹介所に對し昨年は從
業員二百十名を募集したが、今
年は石炭採掘の最盛期に直面し
て來たが未だに一人の申込がな
く、同所に毎日四五十人宛の働
き盛りのものがあり失業者の洪
水そのものを現出して炭礦のし
ても出炭の制限實行をしてゐる
ので從業員の減首をつらく忍耐
してゐる状態で、同地方の失業
者は歳末を前に非常なる苦境の
立場にある。

按摩料値下

石城郡
内郷村大字級の按摩業者は從來
四十錢の料金をとつてゐたが、
不景氣になつたので今後三十錢
に値下げする事になつた。

愛谷堰工事 認可申請

平町外三ヶ村よりなる石城郡愛
谷江筋不動堰改修工事に關して
認可申請

義太夫温習會

若葉會主催の
平町若葉會主催の秋期義太夫温
習會

在郷軍人行軍

平在
郷軍人分會では來月三日石城郡
二つ矢山、行軍する。

子供を轢

平町鈴木自動車部平、江名乗合
自動車第一一七四號を飯村大字
下荒川字久世原山崎常治(二二)
が運轉し三十日午前九時頃豊間
村大字豊間字柳町地内を進行中
遊戯中であつた同町徳之助二男
鈴木梅治(七)を轢き倒し全治
一週間の傷を負はせたので平署
で取調中である。

野菜類が育たぬ

土地が酸性化してゐるため
石城郡磐城村農會ではこの程同
村字下湯長屋より藤原部落一帯
にかけ(げんげ)の栽培がことごと
く失敗してゐるから地質を調
査して貰ひたいと同農會に依
りて來たので同會の柴田技手
が土壤を取寄せ化學的に調査し
た所
酸性化した土地に蔬菜類の種子
を蒔いても發育悪く結局は枯死
するといふ恐るべき結果を招く
由で、一昨年以來同方部の蔬菜
類が品質不良であつたのもそれ
が原因であること判明した。

相馬支局通信

奉納競馬 原町乘馬
會主催の馬頭觀世音奉納競馬は
三十日原町競馬場で催した、競
馬熱の高い地方とて出場馬も非
常に多く、それに優勝旗を始め
賞品出の如く積み上げて景氣を
添へた。恰も九月節句で農家の
休日の事とて見物人は豫想以上
で大盛況であつた。

自治會發會式

相馬
郡高平村の有志は豫てより村の
自治研究機關を設立すべく準備
中なりしが、愈々三十日同村遠
藤清氏宅にて發會式を挙げ、同
時に規約の制定選舉等を行ふた

記念傳道

相馬郡原
町下町原町基督教會多田吾助氏
同町幸町日本基督教會牧師小林
壽雄氏、同傳導師鶴沼芳枝女史
等勸語發四十年紀念傳道を三
十日午後六時より同町警察署前
に、三十一日午後六時より原町
驛前にて野外傳道を試み多數の
聽衆に多大の感動を與へた。

原町の招魂祭

相馬
郡原町にては來る十一月五日、
夜之森公園内忠魂碑前に於て殉
死者遺族並に地方有志の參列を
求め午前九時より招魂祭を執行
する。

道の湯の菊花

秋の
花玉菊の花の薫り高き昨今原町
木之助町の湯には知れぬ多
數の菊花を同校庭にところ狭く
陳列されてゐるが、地方でも珍
らしいので毎日の觀客で大賑ひ
である、湯上りの一ふくに観菊
の情味はまたと求められぬと浴
客は大喜びである、これは同家
の田中氏の汗になつたものだ

▲平豊間電話

石城郡豊間、平間の市外電話線工事はこの程完成したので十一月十一日から開通することに決定。

▲磐城民謡大會

磐城民謡大會は来る十一月八日午後六時から同町楽楽館に催し一般來聴を歓迎してゐる。

毒ガス事件

仲裁で解決

石城郡植田町植田水力電気會社勿來分場で製造するカーバイト工場の煙突から人畜に被害ある毒ガスが發散すると同村小野村會議員外三十名連署で去る大正十四年福島地裁判所に損害賠償の請求訴訟を提起し爾來警争ののころ二十八日縣保安課の藤原工場官補が調停に立ち解決に努めてゐたが纏らなかつた、結局同工場の氣抜けを密閉する事にし一先づ解決を見た。

渡邊政吉君を憶ふ

(上) 飯村 開舟
都會生活の繁忙から、既往二年會はなかつた渡邊政吉君の活潑な姿に接する豫期も歸郷のフアストインプレーは病疾の爲めに南の海邊K病院へ轉地療養中だと聞いて涙ぐむ。

握られた、其の瞬間の精神的差異！私は一人の満足に感佩しつゝ開封し披見した。永々御無汰致し誠に申譯が御座いません。何卒お許し下さい。菊雄様、別に御慶びなく元氣で入つしやうと陰ながら喜んでゐます。御家内様にも何んの御慶びもないでせうね。僕も大變御慶びにて良くなりまして。僕も××病院に來てモ一年が來るのです。一年が來ても退院が出來ないかと思ふと本當に思ひ掛りぬ病氣を持つたものです。以下中略

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルー・ジ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

胃腸 専門科
梅毒 専門科
皮膚病 婦人病 淋病
腸胃病 胃腸科
院醫科
(七〇一話電)

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン

川井内科診療所

平町南町六五改(電話一八一番)
醫學士 川井 重子
女 醫 川井 安子

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町(電話五九一番)

今般全員ノ協議ニ基キ左ノ事項決議致候ニ付キ大方ノ諸彦何卒御了承被下度願上候 敬白
一、自今酒一本ノ定價
金三十五錢、金四十錢、金五十錢ノ三種ニ分ツ、但シ御客様ノ申込ニヨリ宴會等ノ便宜取計ヒニ應ズル事
一、ビール壹本金六十錢(高級品)
一、サイド壹本金三十錢(金線三矢)
一、酒、ビール、サイド、ノ持込ニハ絶對廢止スル事
右之通り通達ノ日ヨリ實施仕候事
平料理屋組合
顧客各位

首より上の

化粧品と器具

◆理髪店用バリカンと剃刀
◆安全の及ミ器械及び皮砥
◆白衣と鏡取揃えてあります
◆經濟のクリーム・ポマード
ハカリ賣一フケ取香水・純椿油
平町土橋山崎合名會社向
芳香園理髪器具店
電話六八〇番

吸入用酸素酸素吸入器

正確体温器寒暖計

特營城平町
約開内藥局
店電四〇番

温灸

胃腸病 肺病、肥り度い人婦人病
冷え症、慢性諸病に特効
醫學博士廿名推奨
特許 **ラチウム温灸器**
説明書進呈
特約代理 福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院
治療部 福島縣平町白銀町九
關口悦子

スポーツの秋

◎各種運動具！
最新で・軽快で・スマートな
秋高アンダー・スエター
及ビ各種運動服裝
尖端的感覺百パーセント
平・田町
自製靴： 大塚支店 製靴部
斷然値下げ 運動具部
電話七七番

黒小倉學生服

今年はウンと安くなりました
型も新しく一裁縫も丈夫に
皆様にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃いました。

特製品 小學生用 2.00
特製品 中學生用 3.00

なかや洋服店

平二 電203

吉田眼科病院

平町紺屋町
電話六八番